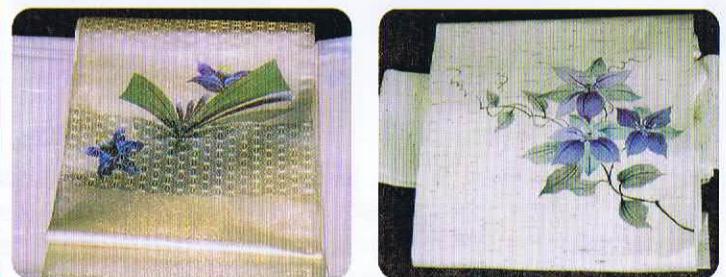


ライオネス
おじやましまさ
訪問



「会長と言われた時は大変だなと思いましたが、無事に全うすることが出来るよう願いました。そのために私が出来ることといえば無駄な心配をかけないことだと思います。」

株式会社北原商事を経営し、42代目ライオンズ会長となった夫を陰で支える婦人邦子さんは茶道と手描き友禅が趣味。茶道は表千家。先生の作品に憧れて始めた手描き友禅は20年程になる。「趣味が続けられるのも、主人や家族の理解があるから出来るんです」と感謝する。作品は着物や帯、タペストリーで、着物や帯には多彩華麗な絵模様が描き出されており、タペストリーは居間の壁にしっかりと飾られ、存在感を示している。



ライオネス
北原 邦子さん

子供たちは2男1女でそれぞれが独立しており、7人の孫の「バーバ」もある。孫たちの訪問には「ついつい甘やかしてしまうんですよね」と口もとをほころばせる。85歳になる姑の公民館活動を見守り、夫の健康を気遣いながら主婦業に専念し「多忙な毎日なんです」と話していた。

自由を守り 知性を重んじ われわれの 国の 安全をはかる

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

会長指針 (2005.7~2006.6)

1. 青少年指導育成。～未来を託す青少年育成に尽くす～
2. 環境保全。～環境変化への対応を～
3. 献運動推進。障害者に～ふれあいの奉仕～
4. 会員増強と維持。～ライオンズクラブの人的財産を増やそう～
5. 例会100%出席の実現。～楽しい魅力ある例会運営～



国際協会 テーマー

飛躍への情熱

334複合地区 スローガン

みんなで まもろう 青い地球

334-E地区スローガン

感謝と思いやりで奉仕

駒ヶ根ライオンズクラブ会報 第116号

■発行日／平成17年9月1日 ■発行者／駒ヶ根ライオンズクラブ 会長 北原公和 ■編集責任者／PR・IT委員長 小田切さち子
■事務局／駒ヶ根市上穂栄町3-1 駒ヶ根工商会館4F TEL 0265-83-7806 FAX 0265-83-8386
■印刷所／駒ヶ根市株式会社宮澤印刷

会報

KOMAGANE
LIONS CLUB
No.116
2005.9

報

会長スローガン

— 改革・友愛・奉仕の輪 —



『アルプスがふたつ映えるまち』駒ヶ根市のキャッチフレーズである。

4月下旬標高1,750mの古城公園に咲き誇る桜花、若木ながら開花まではどこにいるのかと思わせながら、この季節だけは自らの主張を譲らない。遠景は駒ヶ根市内、美しい光景である。

本年度、L.北原会長は、重点事業の一環として、自然との共生・環境保全のためのアクティビティーとして、桜と楓の植樹、メンバー、市内のスポーツ少年団の子供達、保護者会約400名の参加による環境美化奉仕活動を展開する。

この美しい駒ヶ根市の自然を次代を担う子供達に託せるように、駒ヶ根ライオンズクラブでは環境保全事業を継続アクティビティーとして取り組んでいます。

334-E地区1R2Z



駒ヶ根ライオンズクラブ

L字の誇り 胸にかかる ひびスタート

ごあいさつ

奉仕活動で悦びの感動が広がる一年に

「新たな改革」それは先輩が培った歴史伝統、継続してきた力を託せる仲間作り。大切なメンバーを失わない魅力のある例会など、クラブ運営に他ならないと思います。

又本年度の重点事業の一環として、市民の目線に立った、活力ある奉仕活動の展開、新しい挑戦など、新たなる改革は次の豊かさを生むことだと思うからです。

8月第一例会では会員指導力育成委員会の御尽力により、4名の新しいメンバーを迎えることが出来ました。又9月には環境保全委員会、YE委員会担当による全体事業である自然との共生、市内スポーツ少年団約400名による環境保全、市内施設の清掃活動を展開致します。継続事業としましては献血奉仕活動など各委員会が積極的に事業を立案されました。

まだ先行き不透明な経済環境という要因はありますが、会員相互の融和を図り楽しい例会、皆様の「We Serve」の精神のもと、奉仕活動で悦び、感動が広がる一年でありたいと思います。メンバー各位の御指導、御協力をお願いして就任の挨拶とさせて頂きます。



会長 L.北原 公和



幹事 L.下平 文隆

楽しい例会で楽しい一年に

本年度、幹事の大役を勤めさせていただきます。1000回の記念すべき例会の年に当たり、改めて歴史と伝統を感じるところです。

本年度会長の基本方針の基、この地域の個性にあった事業計画を立て、合理的で、効率的な改革を伴った方針で進めたいたいと思っています。例会の時間も有意義なものになるように、アイディアを出したいと思っています。そして知的な喜びを分かち合うような例会となるよう努力したいと思っています。食事の内容も工夫していただき、食するということと共に楽しい例会を目標に、奉仕の精神で集う仲間と楽しい一年に出来たらいいと思っています。皆様の御協力を宜しくお願ひ致します。



会計 L.宮下 厚

ご協力にご理解を

今年度、L.北原公和会長の基で会計の大役を仰せつかりました。宜しくお願ひ致します。入会してまだ10年しかたっていない私が、伝統ある駒ヶ根ライオンズクラブの三役をするなんて思っていませんでした。

いまだに景気が低迷しており、市内の大型店の撤退や娯楽施設の閉鎖など、経済不安の中ですが、皆様からお預かりした貴重な会費を、財務委員会はじめメンバーの方々の協力で、事業計画に沿って大切に無駄なく運営していきたいと思います。予算も厳しい中、会長スローガンの「改革・友愛・奉仕の輪」のもと、メンバーの皆様の御協力と御理解をよろしくお願ひ致します。一年間頑張ります。

ご協力 頂き乍ら

第一担当副会長
L.服部 信彦



二億年前の恐竜も、現在生きている人間をはじめとする動植物も、生きるということの難しさは同じです。地球環境に依って温度が一度上がる、下がる。何処から手を付けて良いのか分からぬ程の問題です。皆様に御協力を頂き乍ら、第一副会長を頑張りたいと思います。本年一年間宜しくお願い致します。

事業に積極的に協力・参加

第三担当副会長
L.下島 利満



昨年は幹事として大変お世話になりました。本年は第三副会長として皆様方には御協力をお願いし、自分の担当する委員会をはじめ、今年計画された事業に積極的に協力し、参加して参りたいと思います。宜しくお願ひ致します。

楽しい時間に なる様に

テーブル・ツイスター
L.米沢 浩一



ライオンズクラブのモットーであります『We Serve』の精神のもとにドネーションを頂くことが多い訳ですが、それぞれの相手の立場を理解し喜んでドネーションを頂ける様に務めて参りたいと思います。

経験豊富なクラブメンバーの皆様のアイデア、アドバイスなどを頂き一年間楽しく行って参りたいと思いますので、ご協力と情報提供をお願い申し上げます。

会長を力強くサポート

要役のスタッフから一言

役の重さを 痛切に感じて

第二担当副会長
L.浦野 英喜



大役をお受けし、身の引き締まる思いであります。会長スローガンを、自分自身よく理解し、ウイサーブの理念に徹したいと思います。

基本方針5項目の内、3項目の担当として役の重さを痛切に感じています。各委員会共に実績ある委員長L.メンバーLの方々の御協力、御指導賜りますようお願い申し上げます。

失敗には 「暖かい笑いで

ライオン・テーマ
L.小澤 禮治



ライオンテーマの責務は、財産及び備品の管理、例会のスムーズな進行です。こんな重責まだ自分が仰せつかることなどないと、のん気に過ごして来たことを悔やんでいます。

例会には段取りよく、楽しい雰囲気作りに務めたいと思っています。間違い、失敗には「暖かい笑い」を持って応援、激励をお願い致します。

改革の第一歩

- ◎食文化を考え、季節ごとの楽しい食事
- ◎三和森に駐車場確保
- ◎会場を設営する臨時職員

クラブ会員の声

- ・理事会の会場が5階になったことで、食事が落ち着いて食べられるようになった。
- ・財政が厳しい中、無駄な出費は避けた方がいいと思ったが、費用をかけてもやって良かった。
- ・食事の設定もいい。
- ・忙しい中、例会の時間ぎりぎりに飛んできても、車の置ける場所があるから安心だ。

次代を担うスポーツ少年団と

会員指導力育成委員会



会員獲得に全力投球

活気あるクラブの活動を維持するために、どうしても若い力が必要である。この地域にも、私達の活動に賛同し共に活動をしてくれる優れた人達がいると思います。会員皆様のご協力を得て、会員の維持、拡大に勤めて参りたいと思いますので宜しくお願ひします。

活動内容

- 7月 *委員会(会員増強年間計画作成)
- 7・8月 *会員増強特別月間
- 1・2月 *会員増強促進
- 2月17日 ☆食事マナー例会



財務委員会



貴重な財源を有効に

本年度、財務委員会を仰せつかりました。もとより未熟ではございますがよろしくお願ひ致します。

今年度も緊縮財政のなかで貴重な財源を有効に運用してまいる所存でございますが、会員の皆様のご協力を宜しくお願ひ致します。

活動内容

- 7月 *委員会(予算案審議)
- 1月 *中間決算報告
- 4月21日 ☆*スポーツ例会
- 6月 *決算書作成



共に環境クリーン奉仕の輪

YE委員会



全体事業を計画委員会と共に

青少年育成のYE委員会を仰せつかりました。本年は全体事業を計画委員会と共に主となって進める事となっております。議会活動の関係で迷惑をお掛けする場面が多いと思いますが、皆様のご協力をお願ひいたします。青少年海外派遣でも前年度のような応募があることを期待しています。

活動内容

- 7月 *委員会(年間計画・全体計画・YE生送出し及び今年度募集)
- 9月 *委員会(全体事業計画・YE生報告会)
- 9月11日 *全体事業(環境クリーン事業)
- 2月3日 ☆講師例会



環境保全委員会



環境問題に感心を持って

地球の温暖化は、我々の予想を遥かに超えて進んでいます。気候の変化による海面の上昇。ゴミを作らず、落ちているゴミは拾う、そんな原点に立ち返り、一人ひとりが環境問題に関心を持つ事が要だと思います。汚れた諏訪湖を基にとり戻すのに300年かかると言われています。今私達が出来る事、そこから始めましょう。会員各位の協力をお願ひします。

活動内容

- 7月 *委員会(年間計画・全体事業)
- 9月 *委員会(全体事業計画)
- 9月11日 *全体事業(環境クリーン事業)
- 10月 *中ア山頂美化清扫に参加
- 3月3日 ☆講師例会
- 4月 *菅の台周辺桜と楓の植樹



計画委員会



計画委員長を仰せつかり

今年度計画委員長を仰せつかりました。一年間先輩委員のお力を借りながら、10月に1,000回を迎える年度の事業運営を見守りたいと思います。年間の活動が無理なく行われ、良く頑張ったとの思いが持てればと考えています。よろしくお願ひ致します。

活動内容

- 7月 *委員会(年間計画・会員手帳作成)
- 8月 *会員手帳配布
- 12月16日 ☆*クリスマス同伴例会
- 1月 *計画実施 中間チェック
- 6月 *計画実施 最終チェック



保健奉仕委員会



ご協力を

保健奉仕委員会、忙しいですがご協力をよろしくお願ひします。献血・献眼・献賢とライオンズの活動、奉仕の基本を学びたいと思います。昨年のメンバーが頑張って献血チャリティー事業で賞を獲得しましたが、本年は出来る限り努力する。全員参加するをモットーに頑張りましょう。

活動内容

- 7月 *委員会(献血運動の年間計画・及び献血)
- 8月～6月 *年間献血活動の促進 献眼対応
- 9月16日 ☆*講師例会
- 2月 *地区担当福祉 ポーリング大会



出席委員会



会長基本方針の例会100%出席

今年度出席委員長を仰せつかり大変光栄に思います。会長の基本方針の例会100%出席、重点課題の一つ1000回記念例会等盛り沢山の事業に対し、先輩諸兄方々のご指導、ご鞭撻をお願いすると共に、一年間頑張りたいと思います。

活動内容

- 7月 *委員会(出席率向上対策・菖のぼだ木管理)
- 9月 *委員会(1000回記念例会・記念事業検討)
- 10月21日 ☆1000回記念菖例会
- 12月 *中間出席率報告
- 6月 *最終出席率の発表



PR・IT委員会



女性の特性を活かして

入会させていただいてまだ日も浅い私が、PR・IT委員長という大役をいただき戸惑いを隠せません。諸先輩の方々のお知恵をお借りし、子宮で物事を考える特性を活かしながら、ライオンズクラブの活動をより多くの人に理解していただけるような会報が作れたらいいなと思っております。ご指導ご協力をお願い申し上げます。

活動内容

- 7月 *委員会(記者懇談会の計画と実施)
- 9月 *第1回会報の発行
- 2月 *第2回会報の発行
- 3月17日 ☆(ニューメンバー)スピーチ例会
- 6月 *第3回会報の発行
- 7月～6月 *年間通してPRレポート作成提出



LIONS CLUB ACTIVITY

記者懇談会



7月19日(火)商工会議所4階研修室にて記者懇談会を開催致しました。マスコミからは伊那毎日新聞社、長野日報社、中日新聞社、駒ヶ根ニュース社の4社が出席され、当ライオンズクラブでは会長はじめ三役、第3副会長、PR・IT正副委員長の6名が出席いたしました。

まず会長がスローガンと基本方針を発表し、幹事が各事業計画を説明。北原会長は「地域の方々に我々の活動を理解していただくには報道関係の力が必要」と取材の協力をお願いしました。



あなたの善意が命を救う

保健奉仕委員会 L.宮澤 宏彰

7月20日(水)、保健奉仕委員会担当の献血活動を駒ヶ根市役所(AM9:30～11:30)と養命酒製造(株)駒ヶ根工場(PM1:30～3:30)で実施致しました。

同委員らは、ライオンズクラブからの手ぬぐいと、日本赤十字社からの歯磨き粉やサビオを袋詰めし、献血に訪れた方々にお礼の気持ちとして手渡しました。今回で献血が31回目という市役所職員の女性からは「まだまだ献血は続けられます。」とうれしい言葉をいただきました。



本年度献血日程表

月 日	時 間	献血会場
7月20日(水)	9:30～12:00	駒ヶ根市役所
	13:30～15:30	養命酒製造(株)駒ヶ根工場
8月8日(月)	9:30～11:30	(株)北澤電機製作所
	13:30～15:30	昭和伊南総合病院
8月11日(木)	10:00～12:00	(株)コガネイ駒ヶ根事業所
	13:00～15:30	
9月6日(火)	10:00～12:00	(株)三恵精機製作所駒ヶ根事業所
	13:00～15:30	
9月24日(土)	10:00～12:00	長野県看護大学
	13:00～15:30	
10月19日(水)	9:30～12:00	(株)マクラエンジニアリング事業部
	13:30～15:30	トーハツマリーン(株)駒ヶ根工場
12月1日(木)	10:00～12:00	日本奈糸株式会社DS事業本部
	13:00～15:30	
1月20日(金)	9:30～12:00	駒ヶ根市役所
2月9日(木)	10:00～12:00	(株)コガネイ駒ヶ根事業所
	13:00～15:30	
2月21日(火)	10:00～11:30	国土交通省天竜川上流工事事務所
	13:00～15:30	天竜精機(株)
3月8日(水)	13:30～15:30	昭和伊南総合病院
4～6月	未定	未定

※日程や場所等に変更があります

駒ヶ根市議会新議長として

8月第一例会

8月5日(金)の例会で、L.北沢洋が、駒ヶ根市新議長になっての会員卓話が行われました。市町村合併が白紙となつた今、19年度以降地方交付税の更なる減額も予想され、行政も真剣な見直しが求められている。時代にあった議会のあり方、議員の資質向上が求められていることを認識して活動をしたい。さらに長野県の高校改革プランにもふれ、地域の基幹産業が製造業であることを認識し、「ものづくり」を体験しながらの特色ある教育を進め、地域産業の担い手として継続的に技術者を提供している駒ヶ根工業高校は残す必要がある。プランに伴う再編整備候補案の白紙撤回を求め、駒ヶ根存続の運動を進める為に「駒ヶ根工業高校を育てる会」として、県教育委員会等に訴えている。会員の皆様の協力を頂きたいと、力強く話されました。



新入会員入会式

8月第一例会

8月5日(金)の例会の席上で新入会員の入会式が行われました。会員指導力委員長司会の基、会場に案内されたのは3名で、この日都合により出席できなかつた1名含めて4名が入会致しました。入会者は緊張した面持ちでL.北原公和会長よりバッジを胸に付けてもらつた後、担当委員会の方々に迎えられました。

新入会員の方々

①生年月日②住所③職業④家族(本人含む)⑤趣味⑥スポンサー



L.新井 博

この度、入会させていただきました、新井 博です。LIONS の精神を理解し、地域社会に貢献できるよう、勤めていきたいと思います。諸先輩方のご指導、ご鞭撻を宜しくお願いします。



L.吉瀬 洋

平成3年10月に創業し、今年で14年目となる広告代理業を営んであります。

この度、地域社会への貢献を実現すべく、伝統ある駒ヶ根ライオンズクラブに入会させていただきました。未熟者ですが宜しくお願い致します。



L.野村 肇

飯島町の野村 肇と申します。この度は、下平文隆先輩のご推薦により、駒ヶ根ライオンズクラブの一員にさせていただきました。未熟者ですが宜しくお願い致します。



L.福島 信夫

この程、伝統と格式のある駒ヶ根ライオンズクラブに入会させて頂き、誠にありがとうございます。

先輩方々のご指導を賜り、1日も早く当クラブの運営、活動に慣れて参りたいと思います。

①S30.12.13②駒ヶ根市赤穂4729-1③新井電気工業株式会社④5人⑤バスケットボール⑥L.下平文隆

①S29.7.31②飯島町飯島107③野村建設株式会社(総合建設業)④7人⑤ゴルフ⑥L.下平文隆

①S20.9.23②飯島町飯島3856-304③株式会社ティーアイシー(金属加工)④5名⑤スポーツ全般⑥L.山浦恭民

利き酒例会

8月19日(金)「利き酒例会」が執行部担当で行われました。

駒ヶ根市内唯一の造り酒屋である長生社の北原岳志専務を講師に招き、世界に誇る日本酒の歴史や製造方法等を学びました。

北原さんは「日本酒の出荷量は昭和48年がピークで、その後の日本酒のシェアは8.8%となつてしまい苦境に立たされている。」と話し、さらに「日本酒の本来の姿を考えた時、地域の方々が誇りに思える酒造りをしたい。そんな思いから純米酒にしぼった酒造りをしている。」と話されました。その後L.木下昌明の打ったそばをつまみに、「純米原酒生酒」「純米大吟醸」「純米信濃鶴」を飲み比べ、風味や香りの違いを確かめながら日本酒談義に花を咲かせました。



ライオネス
おじやましまさ
訪問



「子供たちがそれぞれ手が離れましたので、好きな植物を育てています。どんな花でも種がこぼれて芽が出るとほっとけないため、鉢に植えて育ててしまうから今では60鉢以上にも増えてしまいました」

昭和46年当時校内暴力と騒がれた頃、東京の下町の中学校で教員として5年を過ごした。校内はバイクの爆音が響き、トイレはめちゃくちゃに破壊される状況を目の当たりにした「あの頃の私を見て主人に目がつ

りあがっていたと言われました。」低年齢化した犯罪が紙面をぎわせている今「価値観の違いからか親から子に伝える物がなくなっているのではないか、今は生き方が多様化しているが、人

として大事な事を次世代に伝える事を大人たちが真剣に考えなくてはいけない時だと思います。自分自身子供たちに伝えられたか心配ですがね」と話していました。



ライオネス
下平 節子さん

現在幹事として忙しく活躍しているL.下平文隆が、ライオンズクラブに入会したころは末っ子がまだ12歳の時だ、自分には関係あるような感じではなかったが自営業には必要なことなのだろうと理解されました。

自由を守り 知性を重んじ われわれの 国の 安全をはかる

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

会長指針 (2005.7~2006.6)

1. 青少年指導育成。～未来を託す青少年育成に尽くす～
2. 環境保全。～環境変化への対応を～
3. 献運動推進。障害者に～ふれあいの奉仕～
4. 会員増強と維持。～ライオンズクラブの人的財産を増やそう～
5. 例会100%出席の実現。～楽しい魅力ある例会運営～



国際協会 テーマー

飛躍への情熱

334複合地区 スローガン

みんなで まもう 青い地球

334-E地区スローガン

感謝と思いやりで奉仕

駒ヶ根ライオンズクラブ会報 第117号

■発行日／平成18年2月17日 ■発行者／駒ヶ根ライオンズクラブ 会長 北原公和 ■編集責任者／PR・IT委員長 小田切さち子
■事務局／駒ヶ根市上穂栄町3-1 駒ヶ根商工会館4F TEL 0265-83-7806 FAX 0265-83-8386
■印刷所／駒ヶ根市株式会社宮澤印刷

会報

KOMAGANE
LIONS CLUB
No.117
2006.2

報

会長スローガン

－改革・友愛・奉仕の輪－



—アルプスがふたつ映えるまち駒ヶ根へようこそ。豊かな自然がお待ちしています—

駒ヶ根市にライオンズクラブが創立されてから42年以上が経過した。

クラブ員同志が融和を図り、自己研鑽を積む定例会も1000回に及んだ。

諸先輩が築いてきた歴史に深く感謝し、ライオニズムの精神を明日に続けたい、そんな会員一人ひとりの思いを形にして残した広告塔を駒ヶ根市に寄贈した。高さ3.9m、幅90cmのスチール製の歓迎広告塔は、北ノ原西友前の伊南バイパス通りにすくと立ち、駒ヶ根市に訪れる人々を出迎えている。

334-E地区1R2Z



駒ヶ根ライオンズクラブ

新年のごあいさつ



地域に密着した奉仕活動を

会長
L.北原 公和

年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、大きな夢と希望を持って新しい年を迎えた事と存じます。

昨年は、厳しい経済環境の中、とりわけ不透明な消費動向に私どもにとって厳しいものがありました。年末の東証大納会では、株価が1年で4割上昇、過去最高の出来高を更新しました。その要因に日本の基幹産業であるIT、自動車、住宅などの企業の収益が改善



改革と創造へのまちづくりで明日への展望を

駒ヶ根市長
中原 正純

平素、市政に対するご理解とご協力を賜り、心から厚く感謝申し上げます。

昨年は、単独での自立を目指すこととなった厳しいスタートとなりましたが、新たな時代の転換期に立って、駒ヶ根市が基礎自治体としての力量を高め、地方自治の本来の姿を実現していくために取り組んできた一年でした。

迎えた本年も、駒ヶ根らしさを活かし、持続可能な地域社会を築いていくために、市民の皆様と共に「真の改革と創造へのまちづくり」に向け議論を深め、明日への展望を切り開いていかなければなりません。

とりわけ、少子高齢社会に対する子育て支援を軸に、引き続き、緑豊かなまちづくりを進めてまいります。

終わりに、一層の市政へのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が貴クラブ並びに関係の皆様にとりましても良い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



協働のまちづくりを通して活力ある地域づくりを

飯島町長
高坂 宗昭

新年明けましておめでとうございます。

駒ヶ根ライオンズクラブ会員の皆様方には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

日頃の貴クラブのご活躍に心から敬意を表すると共に、平素、地域発展の為に寄せられておりまますご支援、ご協力に心から感謝申し上げる次第です。

昨年は、長期にわたる不況の中から、ようやく好転の兆しが見えてきた経済社会になりつつありましたが、中小企業や地方における景気回復にはほど遠く、地方自治体をとりまく経済環境は、依然として厳しい状況下にあり、景気回復を実感できる社会情勢とは言いがたい状況にありました。

宮田村においても駒ヶ根ライオンズクラブ様に毎年福祉に、青少年にと暖かいご芳志を頂き大変有り難く感謝申し上げます。

全國においては、歴史的構造改革に直面しております。地域を力強く育てる事が求められています。ライオンズクラブのモットーである「We serve」の崇高な理念高揚の為に多くの同志が英知と努力に依り、築かれて来た伝統と実績を、更に発展されることを願い、皆様が希望に満ちた明るい年になります様、ご健勝でご活躍されます事を祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。



行政の立場で全知全能を傾注して

宮田村長
清水 靖夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様には晴れやかな新春を健やかにお迎えの事とお慶び申し上げます。

私こそ、昨年迄伝統ある駒ヶ根ライオンズクラブに13年間在籍させて頂きその間学んだ社会奉仕活動を通じ多少でも知性を高める事が出来たのではないかとも思っております。この間会員の皆様に頂いた心暖かいご支援、ご協力、ご指導に心から感謝申し上げます。今後は行政の立場で全知全能を傾注して参る所存でございます。

宮田村においても駒ヶ根ライオンズクラブ様に毎年福祉に、青少年にと暖かいご芳志を頂き大変有り難く感謝申し上げます。

全国においては、歴史的構造改革に直面しております。地域を力強く育てる事が求められています。ライオンズクラブのモットーである「We serve」の崇高な理念高揚の為に多くの同志が英知と努力に依り、築かれて来た伝統と実績を、更に発展されることを願い、皆様が希望に満ちた明るい年になります様、ご健勝でご活躍されます事を祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

LIONS CLUB ACTIVITY

駒ヶ根リトルへ硬式ボール2ダース贈呈

Y.E委員会
L.北沢 洋 9月11日(日)



9月11日(日)早実グランドで「ライオンズ旗争奪リーグ大会」がY.E委員会担当で行われ、硬式ボール2ダースを贈りました。

開会式では北沢 洋Y.E委員長が「勝ち負けにこだわらず楽しい大会になるように」とあいさつ。北原公和会長の始球式で大会が開始されました。

現在団員は120人。「一期生だった少年が40歳の父親となりコーチとなって指導しており自分の子も入団させている」とのこと。赤トンボの飛び交うグランドには白球を追う少年たちの元気な声が響いていました。結果、優勝は中央チーム、準優勝は西チーム、3位は天童チームでした。

保健奉仕委員会
L.宮澤 宏彰 9月16日(金)

駒ヶ根手話サークルに手話に関する書籍20冊贈呈

9月16日(金)ナイター例会で保健奉仕委員会担当の駒ヶ根手話サークルの会員及び聴覚障害者との交流会を行い、その席上にて手話に関する書籍20冊を贈呈しました。

この例会は、会長の基本方針である、障害者とふれあい、障害者と社会がどう関わり合っていくか実体験することがねらい。手話サークルの会員の指導で簡単な手話を学んだ後に、店に聴覚障害者が来たという場面をセッティングして健常者がどう対応するかを実際に学びました。



赤い羽根共同募金贈呈



駒ヶ根市へ 5万円
宮田村へ 2万円
飯島町へ 2万円

12月15日(木)

12月15日(木)L.北原公和会長ら三役は、駒ヶ根市役所を訪問、中原正純市長に「福祉のためにやくだて欲しい」と赤い羽根共同募金として5万円を手渡しました。中原市長はお礼を述べた後「社会的弱者のために使わせていただく」と話しました。この日飯島町と宮田村に各2万円を寄付いたしました。

駒ヶ根市スポーツ少年団に10万円を贈呈

1月15日(日)



1月15日(日)L.北原公和会長ら三役は、駒ヶ根市スポーツ少年団(11団体、約370人)の交流大会の席上で同少年団への助成金として10万円を贈りました。L.北原会長は「スポーツを通して心身を健全に鍛えて」と激励しました。

駒ヶ根ライオンズクラブ

全体事業 環境保全委員会
YE委員会



次代を担う

天竜川河畔
すずらん公園

子供達と共に地球を守る にはまずは足もとから

9月11日(日)駒ヶ根市内の公共施設(公園、福祉施設)など4箇所でスポーツ少年団の子供たちと共に環境クリーン事業を行いました。

同事業は、駒ヶ根ライオンズクラブの全体事業で、地球的規模で呼ばれている環境問題を、次世代を担う子ども達に、引き継がれて行くことを願い実施したもの。会場となった天竜河畔、すずらん公園、馬見塚公園、千寿園にはスポーツ少年団の子ども達と父兄監督ら約600人が参加して、一斉にゴミ拾いや草取り等を行いました。

福祉施設の「千寿園」は約120人が参加。周辺草ぼうぼうだった施設が、子供たちの積極的な活動で見る見るきれいになり参加した女の子が「達成感が得られて良かった」と感想を話してくれました。全体で拾ったゴミの量は、プラスティック類5袋、燃えるゴミ3袋、ビン・ガラス類1袋、アルミ・スチール類3袋、草木類、軽トラック5台でした。



環境クリーン奉仕

馬見塚公園
千寿園



1000回記念例会

■歓迎広告塔 60万円を駒ヶ根市へ



歓迎広告塔

10月21日(金)例会で1000回記念アクティビティ贈呈式が行われ、北原公和会長が中原正純駒ヶ根市長に歓迎広告塔60万円を寄贈しました。

この歓迎広告塔は高さ3.9m、幅90cmでスチール製。北ノ原西交差点の伊南バイパス通りに建つられ真っ青な下地に「アルプスがふたつ映えるまち駒ヶ根」の文字がはっきりと浮かび上がっている。

駒ヶ根ライオンズクラブが創立して以来この日で1000回目の記念すべき例会となり、諸先輩が築き上げた歴史に感謝し、ライオニズムの精神を明日に続けていくために一つの区切りとして形に残しました。



L. 北原公和会長より

■介護機器 28.7万円を駒ヶ根社会福祉協議会へ寄贈

11月21日(月)介護機器贈呈式がふれあいセンターで行われ、L. 北原公和会長が竹内正寛社会福祉協議会会长にリクライニング車椅子1台、セーフティアームウォーカーMタイプ2脚、オムロン手首式電子血圧計2台(総額287,000円)を寄贈しました。

この介護機器は駒ヶ根ライオンズクラブ1000回記念例会の貢献チャリティーで得た収益金で購入したもので駒ヶ根市介護施設「竜東やまびこ園」で使用されます。

竹内正寛会長は「利用者が心から喜んでもらえるものをいただきありがとうございました」と受け取られました。



「視力ファーストII」にドネーション L.滝沢昌哲地区ガバナーへ



10月21日(金)1000回記念例会の席上で世界の視力障害者を支援する「視力ファーストII」に北原公和会長、下平文隆幹事、宮下 厚会計とL.浅井正八がそれぞれ1000\$をL.本多 繁とL.小林正人が各500\$をドネーションし、これをL.北原公和会長がL.滝沢昌哲地区ガバナーに手渡しました。

この視力ファーストII(CSF II)はヘレン・ケラーが「盲人のために暗闇と闘う騎士になってください」とライオンズに向けて言葉を発したことからライオンズの中心的な活動として位置づけられました。



10月21日(金)1000回記念例会及び菖例会をグリーンホテルで行い、中原正純駒ヶ根市長始めL.滝澤昌哲地区ガバナー、L.星澤正寛キャビネット幹事、L.和田甲子郎元地区ガバナー等10名を招待しました。

恒例となった菖例会は、クラブ員が菖狩り等で収穫した物をオークションにかけ、その収益をアクティビティすることがねらい。この日、クラブ員47人が早朝から中沢地区山林で、出席委員会が丹精込めて育てたクリタケと、天然のクリタケ、イクチ、シバカブリ、ナラタケなどを収穫。懇親会では菖鍋で、舌鼓をうちました。



例会報告

■国際経済と経営者



9月2日(金)例会で会員卓話が行われ、経営者の立場からL.山下 勉が「国際経済と経営者」と題して話されました。

L.山下は平成15年度の都道府県別赤字率ワーストランキングを表で示し、長野県は1位である。原因は、ITバブルが3年前にはじけた上、自動車、化学及び素材産業が少なくIT製造業が多いからだと指摘した。また中国経済の動きに触れ、中国及びアジアで各國の技術力が今後一段と向上し将来は日本と同等の80%。日本より低いは18%との見方が有力となっている。世界中にあふれた中国製の繊維商品は世界も悩ましい状況となっていると話されました。

さらに、自動車業界や、デジタル製品に至っても、次々に新商品が開発されているが、短期間であきてしまう消費者が多くなっているため、経営者の判断が大変難しく、今後も長野県の経済は厳しい状況であろうと話されました。

9月第一例会

■PTA会長として



10月7日の例会でL.伊藤政文とL.米沢浩一が「PTA会長として」と題して会員講話を行った。

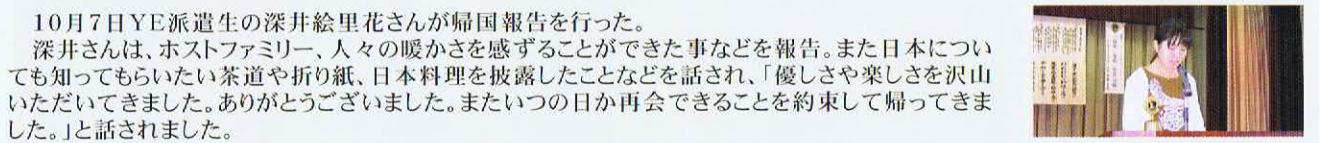
七久保小学校のPTA会長のL.伊藤政文は、核家族化された現在、地域住民が心を一つにする場所として学校が利用されており、地域ぐるみで子供を育てる活動を多く取り入れているとその内容を話され、とかく母親中心になりがちなPTA活動も、父親の参加が不可欠であると話されました。

また県下最大のマンモス校となっている赤穂中学校のPTA会長となったL.米沢浩一は、一面では名譽職とは言われているが、職があるため引き受け手がないのが現状となっており、大規模な学校なりにプレッシャーもある。

生きるために何をすべきか子供たち自身が企画運営していると話されました。

10月第一例会

■YE派遣生帰国報告(フランス)



10月7日YE派遣生の深井絵里花さんが帰国報告を行った。

深井さんは、ホストファミリー、人々の暖かさを感じることができた事などを報告。また日本についても知つてもらいたい茶道や折り紙、日本料理を披露したことなどを話され、「優しさや楽しさを沢山いただきました。ありがとうございました。またいつの日か再会できることを約束して帰ってきました。」と話されました。

■環境循環型社会



■企業(見学)訪問例会



11月18日(金)トーハツマリーン株式会社の企業(見学)訪問例会を行いました。

同例会は、駒ヶ根市の企業誘致による世界規模の企業が、どんな製品をどのような設備で生産しているのか生産環境を知り知識を深める目的で実施。松本和紘工場長から説明を受け、工場内を見学させていただきました。

同会社は、大正11年東京都中央区にモーターの研究所を開設し、小型ガソリンエンジンの研究開発を元に、発動機付き揚水ポンプや、純国産モーターカーなどを製作。陸海軍の協力管理工場に軍需指定された経緯をもつ。現在は「エンジン」という動力機械の心臓を船外機や防災機器などに取り付け製作。船外機は総生産台数の6割強が北米を中心とした120カ国以上に輸出されている。社員400人の企業に駒ヶ根市からは100人が採用され、地球環境問題を考慮したクリーンで環境に優しいエンジン開発に取り組んでいる。

11月第一例会

11月第二例会

■駒ヶ根ライオンズクラブ例会(1000回)の歴史

12月第一例会



12月2日(金)『駒ヶ根ライオンズクラブ例会(1000回)の歴史』と題してチャーターメンバーのL.小林清志が会員卓話を行いました。

発足当初はクラブ員が22名であったこと、松本中央クラブのスポンサーとなったこと、知立市との姉妹提携したことなどを話され、さらに10年ごとの記念行事を振り返りながら、印象に残った思い出を話されました。また委員会の積極的な活動は会員同志の連帯感を深め、ライオンズクラブを長期に継続していくためには、ライオネスの協力が大きな助けとなる。と話されました。

■ガバナー公式訪問 滝澤昌哲地区ガバナーを歓迎



9月1日、ガバナー公式訪問が、ホテル神明閣オオミヤで行われ334-E地区 1R2Zのライオン269名と事務局員8名が、滝澤昌哲地区ガバナーを歓迎しました。駒ヶ根LCでは北原公和会長はじめ幹事、会計、各委員長を含め12名が出席しました。

挨拶に立った同地区ガバナーは、ガバナー・アクティビティスローガン『感謝と思いやりで奉仕』及び基本方針を説明した後、全国的に会員減少に歯止めがかかる実情を話され、会員一人が一人の増員をと願い、今年アショク・メータ国際会長が打ち出された会員増強に向けての新しいアプローチ「プラス1」を強調した。その後懇談会が行われ、今田人形浄瑠璃を鑑賞。懇親を深めました。

■透析を行っている患者さんと臓器提供意思表示カード配布

9月2日駒ヶ根ベルシャインと飯島チャオで、全国腎臓病協議会は臓器提供意思表示カードとリーフレット500枚を配布。ライオンズクラブでは6名が参加しました。

駒ヶ根ベルシャインでは、現在透析を行っている患者さんの100人中35人とその家族10人が、買い物に訪れた人に手渡しました。参加した家族は『ソッポを向く人や、語気を強めて「いらん」と言う人いろいろな人がいますけど「頑張ってください」とやさしく言われた時は大変うれしい』と話していました。



■ふれあい広場



9月4日(日)「でいい、ふれあいかがやくいのち」をテーマに、ふれあい広場が駒ヶ根文化センターで行われ、関係機関や障害者、ボランティア団体など約6000人が参加しました。

同広場は「障害者を持つ人も持たない人も、お年寄りも子どもたちもふれあいを通して共に生きる心豊かなまちを創造する」が目的。今年で21回目となった会場の文化センター周辺にはテント村が作られ、楽しく賑やかな声が飛び交っていました。

駒ヶ根LCでは、駒ヶ根駅前から駒ヶ根文化センターまでのパレードに、北原公和会長ら15人が参加しました。

■献血体験ルーム

10月28・29・30日にベルシャイン駒ヶ根店2階ニシザワギャラリーで平成17年度献血体験ルーム運動が行われました。

同運動は、伊那地区住民の献血に対する理解と積極的な協力を得るため、気軽に献血の体験ができるようにと臨時に献血ルームを設置して意識の高揚を図ろうとしたもの。駒ヶ根、伊那、箕輪、辰野、高遠伊那東ライオンズクラブ共催で実施。会場が駒ヶ根だったため駒ヶ根ライオンズクラブが主管で行いました。



■ほど木の植えこみ



11月23日(水)に出席委員会(松井俊仁委員長)は中沢中割のL.下島利満所有の山林でほど木の植えこみを行い10人が汗を流しました。

クリタケの菌を埋め込んだドングリの木のほど木は、約30度の傾斜面に手渡しで運ばれ、自然土に埋められました。今年は気候にあわず不作でしたが、来年に期待しましょう。



12月16日(金)、クリスマス同伴例会&パーティーをグリーンホテルで行い、多くのライオネスの方々の参加をいただきました。アトラクションでは花柳太昌さんの日本舞踊と歌手の西沢美奈さんの歌謡ショー、さらに三役と事務局員の「皆の衆」の踊りで参加者はあおいに盛り上りました。



新年例会・新春祝賀会

1月6日(金)新年例会及び新春祝賀会が、グリーンホテルに於いて多くの来賓をお迎えし開催されました。L.北原公和会長は、「地域に密着した奉仕活動を展開した、さらなる協力をお願いしたい」と話し、中原駒ヶ根市長が「住民の立場で多大な尽力をいただき敬意を表したい、改革を断行しつつ市民と行政が一つになって協働のまちづくりを進める上でリーダーシップをお願いしたい」と話されました。



年男

- L. 塩沢 未武 S9年
- L. 宮澤 宏彰 S21年
- L. 謙訪 徳行 S21年
- L. 松井 良介 S33年



ライオンルディー
おじやましまさ
訪問



駒ヶ根市武道館の一角から子供たちの声にまじってゆるやかな、太極拳特有の曲が流れている。その中に交じってスローな動きで美しいポーズを見せてているのは宮下智子さん故L.宮下大一の長女である。健康維持の目的で友人に誘われて始めた太極拳は今年で14年目、6回の全国大会に出場した経験の持ち主だ。「太極拳は健康を保つために必要な動作が、すべて折り込まれています」と絶賛する。



ライオンレディー
宮下 智子さん

まだ幼かった頃に父親が、駒ヶ根ライオンズクラブの立ち上げに加わり、事務局として家を解放した。その父親は1963年から4年間幹事を、1967年から2年間会長を歴任した経緯をもつ。



奉仕活動だからといって家業よりも優先する父の姿、当時では考えも及ばない英語で外国に手紙をだすなど父親の偉大さも見て育った。反面母親の陰の苦労も見てきた。その影響もあってか高校卒業後は柔道整復師の資格を得て接骨院の父親を助けた。

今年度、夫は、会計という役目を全うした。「母と同じような立場に立ったが、母親に近づくにはまだまだ時間がかかりそう」と話していた。

自由を守り 知性を重んじ われわれの 国の 安全をはかる

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

会長指針 (2005.7~2006.6)

1. 青少年指導育成。～未来を託す青少年育成に尽くす～
2. 環境保全。～環境変化への対応を～
3. 献運動推進。～障害者にふれあいの奉仕～
4. 会員増強と維持。～ライオンズクラブの人的財産を増やそう～
5. 例会100%出席の実現。～楽しい魅力ある例会運営～



国際協会 テーマー

飛躍への情熱

334複合地区 スローガン

みんなで まもう 青い地球

334-E地区スローガン

感謝と思いやりで奉仕

駒ヶ根ライオンズクラブ会報 第118号

■発行日／平成18年6月30日 ■発行者／駒ヶ根ライオンズクラブ 会長 北原公和 ■編集責任者／PR・IT委員長 小田切さち子
■事務局／駒ヶ根市上穂栄町3-1 駒ヶ根商工会館4F TEL 0265-83-7806 FAX 0265-83-8386
■印刷所／駒ヶ根市株式会社宮澤印刷

会報

KOMAGANE
LIONS CLUB
No.118
2006.6

会長スローガン

— 改革・友愛・奉仕の輪 —



自然の力が人を育む。大沼湖湖畔の桜が、今年もみごとに花開いた。

—市民の憩いの場所として首の台を桜と楓で埋め尽くしたい—

そんな先人たちの思いを駒ヶ根ライオンズクラブも同調。当クラブの設立35周年記念事業として楓100本を贈った。そのことがきっかけで市民も加わり「桜と楓の名所づくり記念植樹」へと発展した経緯がある。

今年もみどりの日の4月29日に記念植樹が行われ、当クラブ

でも楓10本を植樹した。8年目となった今、桜と楓とで1100本余りとなって、子供からお年寄りまでもが楽しめる場所へと発展しつつある。

桜をとおして大沼湖湖畔から眺めるふたつのアルプスは、今が一番美しい。



2006 73本の明かりが結集 光かがやく

退任のごあいさつ



一年振りかえって見て 会長 L.北原 公和

本年、私のスローガン『改革・友愛・奉仕の輪』を理念に5つの基本方針を掲げて、事業を推進して参りましたが、メンバーのご協力により無事成し遂げる事が出来ました。

特に本年は魅力ある、アイディアに富んだ事業、地域社会に密着した福祉施設へのアクティビティー、まさに時代に即応した奉仕の輪を展開して参りました。

節目となった1,000回例会記念事業として「アルプスがふたつ映えるまち駒ヶ根」観光都市として市民が待ち望まれた歓迎塔を建立、又美しい駒ヶ根市の自然を次代の子供達に託せるように駒ヶ根スポーツ少年団、父母メンバー約560名が一丸となって早朝での環境クリーン奉仕活動を展開、マスコミを通して大きな反響を得、継続事業として市民からも要望が寄せられました。

又言葉で物も反応するスプーン曲げなどユニークな講師例会、世代を語る会員スピーチ、楽しい思い出づくりのレディー同伴のクリスマス例会など、魅力ある充実した例会運営が各委員長、メンバーが一丸となって行われました。

特に本年は、第52回年次大会におきまして、当クラブはゲットスタンディング金賞を受賞されました。皆さんもご承知の通り、この賞は例会出席100%は言うまでもなく、財務役員の職務が常に健全であることが認められた最高の名誉あるアワードです。式典では金賞受賞55クラブを代表して壇上でガバナーより私が受け取る機会を得られた事は、メンバー一人ひとりの努力の結集の賜であり、又、私の人生にとってかけがいのない喜びとなりました。

一年を振り返り私を常にバックアップして下さった執行部役員、各委員長を中心になってメンバー各位の相互理解のもと、年間事業計画が出来ました事に対し深く感謝申し上げ、厚く御礼申し上げます。

退任にあたり、クラブの更なる前進と発展を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。



充実した一年 幹事 L.下平 文隆

忙しかった一年が終わろうとしています。会長の方針に基づき改革を伴ったクラブ運営を求めて、メンバーが楽しく集えることを目標とした。例会の1時間半の時間をいかに有意義なものとするか、『知的な喜びを分かち合えるような時間としたい』と目標にした。節度ある理事会、例会運営などを通してすばらしい出席率で例会場の椅子が足りない程でした。1000回例会を担当できたのも思い出深いものでした。環境クリーン事業での子供たちの姿を通して我々が果すべき役割の大さを感じました。

年次表彰で県下のクラブ代表で北原会長が賞を受けられたことが充実した一年の締めくくりとなりました。ご協力頂いた会員の皆様に感謝申し上げお礼と致します。



一年間お世話になりました。会計 L.宮下 厚

未熟な私でしたが、北原会長、下平幹事、それに財務委員会、メンバーみなさんのご協力のおかげで一年間会計の大役を務めることができました。一年間ありがとうございました。

予算的に厳しい中で各委員長さんのご努力でなんとか予算内に納めることができました。

経済的に厳しい時にメンバーの方々から多額のドネーションをいただき、又、きのこ例会では多くの売り上げがあり、なんとか無事決算書が出来ると思います。一年間みなさんには感謝申し上げます。



ありがとうございました。 テールツイスター L.米沢 浩一

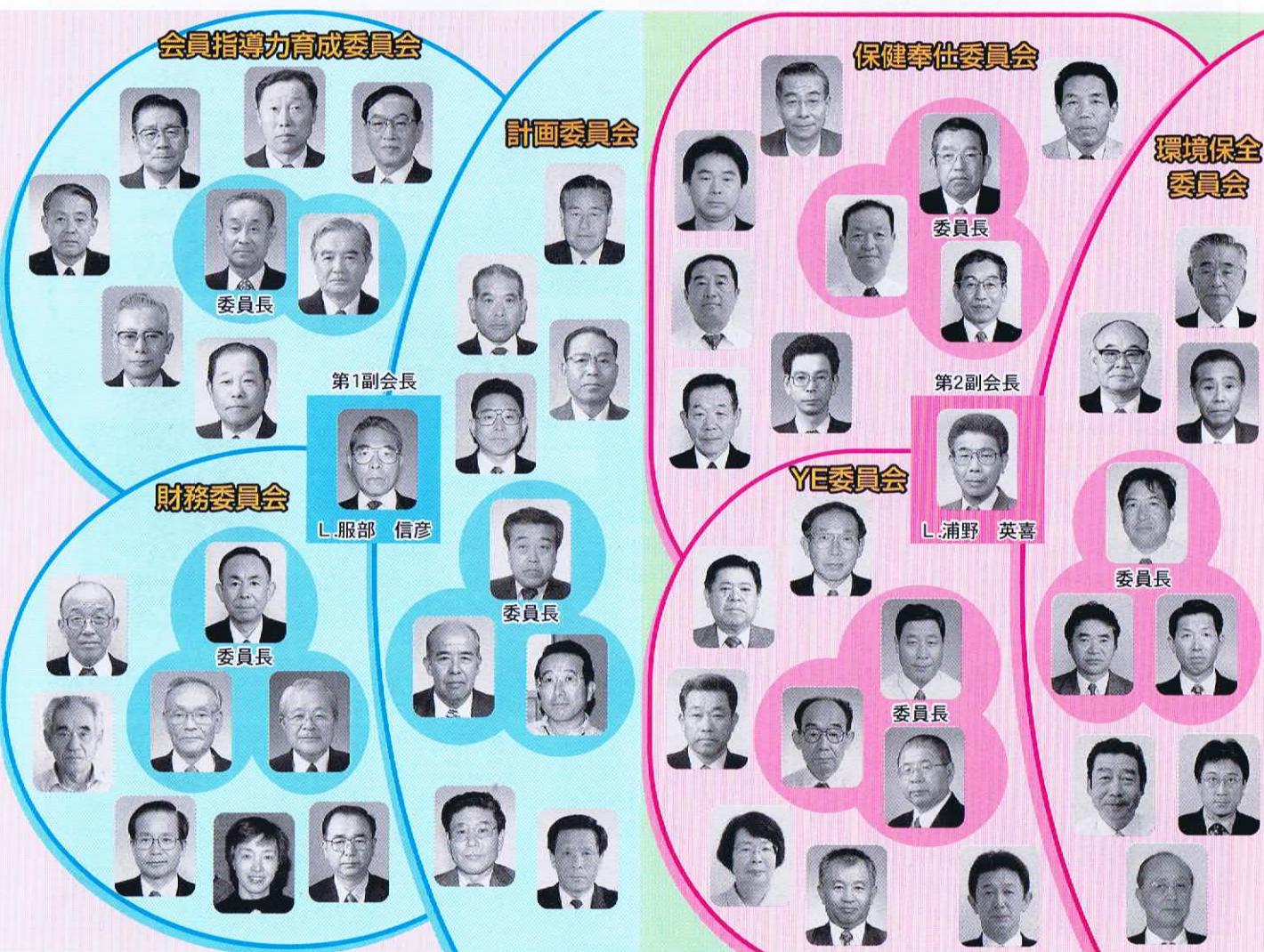
昨今の厳しい経済状況の中、会員の皆様からいただくドネーションについては、本来の趣意にそって自動的にやっていただこうと思い始めたテールでしたが、予算達成のために時には無理なお願いも致しました。しかしその都度快くご提供いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。役員・メンバー各位のご理解とご協力により、何とか一年間務める事ができました。本当にありがとうございました。

確実な気持のつながりを実感 ライオンテーマ L.小澤 禮治

もう1年が過ぎてしまいました。初回から間違えてしまい、司会進行がまともに出来た例会が何回あったでしょうか。しかし会報の就任挨拶でお願いした「間違いには、暖かい笑顔で応援を…」を皆様に聞き届けて頂けたらしく、重責にも拘わらず本当に楽しく経験させていただきました。

最終例会まで務める事が出来たのは三役・副テーマーをはじめメンバー皆様の寛容のお陰だと感謝申し上げます。また、数々の失礼をこの場を借りてお詫びいたします。

テーマの席に座ってみると、例会が以前と違つて見えてきた気がし、今後の為の勉強になりました。入会して10年が過ぎ、皆様との気持ちの確実なつながりが改めて実感できました。ありがとうございました。



52回 地区年次大会

上田市民会館



新会員紹介



この度、伝統ある駒ヶ根ライオンズクラブに入会させていただきありがとうございます。

一日も早く、ライオンの精神を理解し、仕事に奉仕に精進し、住み良い地域づくりの為に貢献出来ますように努めて参ります。何卒ご指導賜りますようお願い申し上げます。

3分間スピーチ

仕事のモットー☆出会いに感謝☆笑顔に感謝☆ありがとう☆



生年月日/S21.7.13
住所/駒ヶ根市下平391-2
職業/有限会社
あるぶす不動産
家族/5人
趣味/釣り
スポンサー/L.浦野 英喜

3分間スピーチ

3月17日(金) ニューメンバー3分間スピーチがPR・IT委員会担当で行われ、平成17年8月から平成18年2月までに入会したL.吉瀬 洋、L.新井 博、L.野村 肇、L.中城逸夫の4名が、自社の紹介や現在の心境と実際行っているボランティア活動での思いや社訓などを話されました。



子育ての大変さを実感



新たな人の出会いの機会を与えられた



厳粛で厳しい組織と感じたが先輩の言葉で肩の力がおちた

宮田村と飯島町が新たに加わった献血奉仕活動

■献血会場 15ヶ所
■一年間の献血量 442,800cc

積極的に献血奉仕活動に取り組み4月まで毎月のように献血奉仕活動があり、献血地域も宮田、飯島に拡大し、突然の献血ルーム等、予定外の依頼も委員と各委員会の協力により行われ、年間の献血量が442,800ccに達した。



ドネーション



総額 94万円

会合の調和、友好、活気をうながす為に、家で支えるライオンレディーに誕生日プレゼントを用意しました。

会報を積極的に配布

PR・IT委員会では地域の人々へのライオニズムの浸透を図るために会報を積極的に配布しました。



栄光にかがやくグッドスタンディング賞受賞

5月19日(金)ライオンズクラブ国際協会334-E地区第52回地区年次大会が上田市民会館で行われ、1141名が参加、当クラブでは16名が参加しました。

年次表彰では、グッドスタンディング賞、会員増強賞、聴覚障害者福祉賞、YE賞を受賞した当クラブの北原公和会長が55クラブを代表して表彰を受けました。



ガバナー スペシャル 特別アワード



敬老会員賞 L.川上 滉



40年皆勤賞 L.池上 元久



敬老会員賞 L.竹村 衛



前山寺



古寺古塔めぐり

例会報告

■安全安心の為に御支援を

2月3日(金)駒ヶ根警察署の向山静雄署長を招き講師例会を行いました。署長は「青少年と社会」と題して、管内の治安状況と、昨年の犯罪状況などを数値で示した後、「社会的弱者が被害に遭う事件が多くなっている。人とひととの関係が希薄になっている現在、地域住民の連帯意識を高めることで犯罪を抑制することができる。安全安心の為にご支援をお願いしたい」と話されました。



駒ヶ根警察署 向山 静雄署長

■マナー教室



2月17日(金)会員指導力育成委員会担当の、マナー教室例会がJA上伊那アイバルいなん3階ホールで行われ、L.山越信治から洋食マナーの指導を受けました。

料理はオードブル、スープ、パン、魚料理、肉料理、デザート、飲み物の七品目。食器の音をガチャガチャさせない、スープは音をたてて飲まない、たばこはデザートまで待つなど、洋食の鉄則やナップキン、ナイフ・フォークの使い方などを学んだ。最後にL.山越はテーブルマナーは時代とともに変わっていくもの、食事は形式ばらずに相手への気遣いと食事を楽しむことだと話されました。



L.山越 信治

■次世代の子供たちに胸を張って残せる山を!!



上伊那森林組合
森 敏彦参事

3月3日(金)環境保全委員会担当の講師例会が行われ、上伊那森林組合の森敏彦参事を招き「山はいま」と題した話を聞きました。

森参事は、山の価値を高め、公益的機能を向上させるためには間伐する必要があると訴え、長野県が計画している間伐計画が報告されました。また里山にある個人所有の森林の間伐が進んでいないために起る現状を話し、「今こそ、自然界を守り育ててきた先人たちに学び、次世代の子供たちに胸を張って残せる山をつくろう」と呼びかけました。



■桜と楓の名所づくりに 駒ヶ根市へ10万円を贈呈

3月17日(金)北原公和会長、下平文隆幹事、小平佳司環境保全委員長は、駒ヶ根市を訪問「桜と楓の名所づくり」事業で植樹する苗木の資金として10万円を中原正純市長に手渡しました。

中原市長は「長年記念事業として取り組んできた結果、素晴らしい景観になってきている。毎年の厚意に改めて感謝します」と話されました。

■緑の日に楓10本を記念植樹



緑の日の4月29日(土)、桜と楓の名所づくり実行委員会主催の、桜と楓の名所づくり記念植樹セレモニーが、駒ヶ根高原の「水と文化の森公園」で行われ、駒ヶ根ライオンズクラブは10本の楓を植樹しました。中原駒ヶ根市長は感謝の言葉を述べた後「すくすくと成長し桜と楓の名所として多くの観光客が訪れるることを願いたい」とあいさつしました。

2月第一例会

■会員卓話

4月7日(金)会員卓話が行われ、駒ヶ根市議会議員であるL.横山信之が「18年度駒ヶ根市一般会計歳入歳出予算構成比」と題して話され、自立への道を選択した駒ヶ根市は、いかに自主財源を増やすかを、土地開発公社にからめ、歳入に主眼をおいて話されました。

固定資産税、市民税、たばこ税、都市計画税等からなる税収は約44億円、地方交付税の減少で財政の緊縮化はやむえない中、駒ヶ根市は先行投資として、土地を抱えたが、優良企業の工場誘致によってさまざまな波及効果が現れてきた。平成17年度末土地開発公社の所有土地は30億円余りとなり計画以上の進捗状況となっており、土地があったからこそ出来た話し、市長の先手、結団力、熱意はすばらしい手腕と評価した。



L.横山 信之

4月第一例会

■マレットゴルフ大会

4月21日(金)財務委員会担当のスポーツ例会・マレットゴルフ大会が馬見塚公園のゴルフ場で行われ、27人が参加しました。

参加者は、今が盛りと咲き誇る桜とツツジの下で、日頃の運動不足の解消に、脚の痛みも忘れてゲームに興じていました。



優勝 L.下澤 正一

4月第二例会

■クリタケ駒打ち作業

4月29日(土)出席委員会担当のクリタケ駒打ち作業が行われました。駒打ちされた50本のほど木はL.下島利満の山へ運び寝かせました。来年の収穫を期待し、昼食を食べながらの反省会ではもっぱらキノコの話に華を咲かせました。



5月第一例会

■講師例会

5月12日(金)講師例会で、「言葉で物も反応する(言霊によるスプーン曲げ実践)」と題して、(有)福島木工代表取締役社長の福島広氏が講演を行いました。一人ひとりにスプーンが配られ、会員らは人差し指にスプーンをのせ、曲がって欲しいと願いをこめた言葉だけで、自分の意思どおりにスプーンが曲がることを体験しました。福島さんは「会社運営に役立て、人生を楽しんで」と話されました。



(有)福島木工代表取締役社長 福島 広氏

5月第二例会

■会員卓話

5月26日(金)会員卓話が執行部担当で行われ、L.桃澤克芳が「中国の現状について」と題して話されました。L.桃澤は従業員23名という小さな会社が何故工場を中国へ進出したのか、今順調なのはなぜか、懸念される技術の流出はどうなのかななどを話されました。

リスクの高い独立資本で順調な経営が出来るのは、家族の絆が強い中国の国民性が大きな助けとなったと話し、懸念される技術流出については、日本の技術は高度でどこも真似のできないものをもっているから心配ないと話されました。さらに中国経済の拡大により日本が受ける影響は、原材料が高騰したことである。中小企業が競争に勝つためには、集めた情報を的確に判断し新しい技術を開発していく必要があると話されました。



L.桃澤 克芳

■引き継ぎ例会

6月16日(金)チャーターナイト引き継ぎ同伴例会がグリーンホテルで行われ、ライオンレディー30人が参加してくださいました。例会では本年度の役員の表彰後に、新旧五役のバッヂの引き継ぎを行い、懇親会で美味しい酒を酌み交わしながら一年間を振り返りました。

